

愛媛県水稻育種の歩み

農林水産研究所

多収・良質・良食味



松山三井



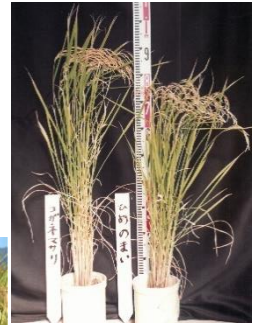
ヒノヒカリ

昭和 松山三井（昭和28年育成）

- 「近畿25号×大分三井120号」
- 晩生、長稈だが稈は太く、大粒
- 昭和28年奨励品種に採用され現在に至る

ひめのまい（平成3年育成）

- 「コガネマサリ×松山三井」
- 中生、短稈で、耐倒伏性は強く、良質でやや多収



愛のゆめ（平成17年登録）

- 「西海181号×ヒノヒカリ」
- 中生、良質・良食味品種



平成 しずく媛（平成22年登録）

- 「松山三井のカルス培養変異」
- 千粒重27g
- 心白の発現が良好な酒米品種



媛育71号（平成30年登録）

- 「媛育50号×関東202号」
- タンパク質含有量は低く、極多収
- 愛媛県特認品種に認定



ひめの凩（平成31年出願公表）

- 「媛育56号×西海245号」
- 高温耐性・極良食味
- 米・食味鑑定コンクールで国際総合部門金賞受賞



美しくつよく 暖かなお米
ひめの凩
MADE IN JAPAN

多用途米

極良食味・ブランド米

健康機能性

令和 媛育83号（令和3年出願公表）

- 「中国188号×媛育71号」
- 腎疾患患者のための易消化タンパク質が少ない品種

昭和

平成

令和